

基礎講座

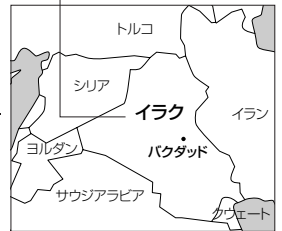
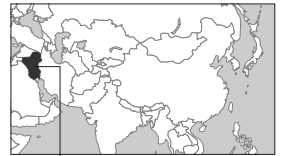
女性を支援し、 極めてきびしい生活を 改善する力に

—イラクでの具体的な取り組み—

2006年12月11日、ユニセフ創設60周年記念日に発表された『世界子供白書2007』を受け、ユニセフのイラク事務所は「イラクの女性たちは緊急な対策を必要としている」との声明を発表しました。女の子や女性を守り、イラクの状況を改善する力にしていくための取り組みの一部をご紹介します。



水汲みをする女の子
©UNICEF/HQ03-0193/Roger LeMoyné



地図は参考のために掲載したもので、
国境の法的地位について何らかの立場
を示すものではありません。

●●イラクの女性の現実●●

イラクは伝統的に女性を尊敬し、教育によって生きる力をつけて社会で活動できる取り組みを行ってきました。しかし現在、長年の戦闘によってさまざまな施設が破壊され、治安の悪化で人びとの生活は深刻な事態となっています。家庭や地域社会、学校、職場などで女の子と女性は極めてきびしい現実に直面しています。

イラクの子どもと女性の現状

項目	1990年頃の統計	最新の統計
乳児（1歳未満）死亡率（1,000人あたり）（人）	1990年 40	2005年 102
5歳未満児死亡率（1,000人あたり）（人）	1990年 50	2005年 125
出産時の妊産婦死亡率（出産10万人あたり）（人）	1989年 117	最新の統計 193～290
改善された水源を利用する人の割合（全国）（%）	1988-1990年 92	2004年 81
就学年齢で小学校に入学する子どもの割合（%）	1986-1990年 男90 女78	最新の統計 男94 女81

出典：世界子供白書 1993、2007、ユニセフ本部ホームページ

●●イラク政府とユニセフの取り組み●●

ユニセフ・イラク事務所のロジャー・ライト代表は、「未来のイラクでは女性は重要なパートナーです。しかし、女性を守る積極的な活動が行われなくては女性たちは差別と貧困に苦しみ続けなければなりません」と語ります。

●イラク政府の取り組み

女性問題省を設置

2006年5月、イラク新政府が発足し、「女性問題省」が新たに組織されました。女の子や女性のための施策を国家の優先事項のひとつと位置づける政府の積極的な取り組みです。ユニセフや他の国連機関、開発にたずさわる組織と協力しながらニーズに対処していきます。ファティン・アブドゥル・ラーマン・マハマウドさんは女性大臣です。「イラクとイラクの子どもたちの未来についての重要な決定に女性に参加してもらわなくてはなりません。それが、すべての国民が繁栄する社会への唯一の道です」と述べています。



女の子と女性のための
施策は国家の優先課題
©UNICEF/HQ03-0192/
Roger LeMoyné

女の子と女性への支援事業

学校に通えなかった女の子が勉強に追いつき、試験を受けられるようにする学習推進事業を行っています。また、女性の栄養状態を改善することで、出産時の死亡原因となる貧血の予防を全国的に取り組んでいます。

●ユニセフ・イラク事務所の取り組み

イラクの女の子と女性の深刻な5つの問題に対して取り組んでいます。

取り組み	女性の現状
1 女性が世帯主の家庭を支援する	全世帯の11%は女性が世帯主で、その数が現在も増加している。稼ぎ手をなくした女性がきびしい生活に追い込まれている。
2 女の子の学習を支援する	伝統的に男女ともに教育熱心な国だったが、治安の悪化などにより、女の子の通学が困難になっている。
3 妊産婦の健康を守る	妊産婦の死亡率が過去15年間で急増している。妊娠中の女性の多くが十分な栄養を摂取できない上に、地域の保健ネットワークが弱体化している。
4 女の子を暴力から守る	多くの女の子や女性が地域社会の中で生活をおびやかされている。
5 より多くの女性の声を反映させる	政府や議員に女性の割合が少ない。

ユニセフ・イラク事務所では、**1**から**5**の取り組みを進めるとともに、①子どもと女性が受ける基本的な社会サービスを改善するための予算を増やす、②女性を守るための法律を整備する、③地方や国レベルの政策決定に女性の参加を推進する、という3点で今後もイラク政府を支援していきます。



保健ボランティアのトレーニングを受ける女性たち

©UNICEF/HQ03-0247/
Shehzad Noorani

「イラクの女性は必要な支援を安心して受けられるようになるまで待つことはできない。我々は今、動かなくてはならない」とイラク事務所代表は述べています。